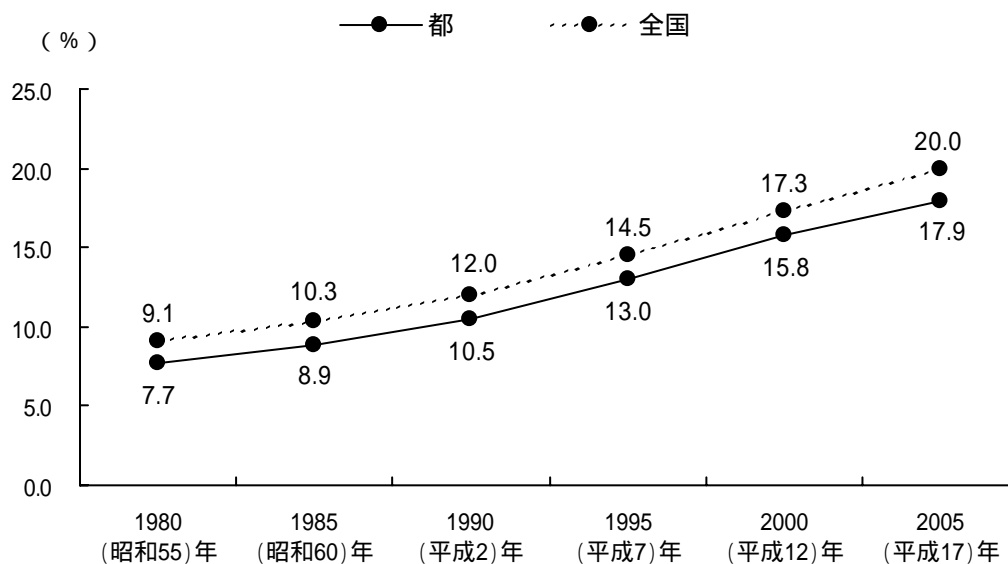


## - 6 介護・高齢者に対する支援

### 1 高齢化率

高齢化率は東京都・全国ともに上昇傾向にある。平成 17 年の東京都の高齢化率は 17.9%となり、全国の 20.0%を下回っている。

図表 - 6 - 1 高齢化率の推移（都・全国）



注 1 : 1980 (昭和 55) 年 ~ 2000 (平成 12) 年までは、各年 10 月 1 日現在

注 2 : 2005 (平成 17) 年の東京都は 1 月 1 日現在、全国は 10 月 1 日現在

注 3 : 高齢化率とは、全人口に占める 65 歳以上の人の割合

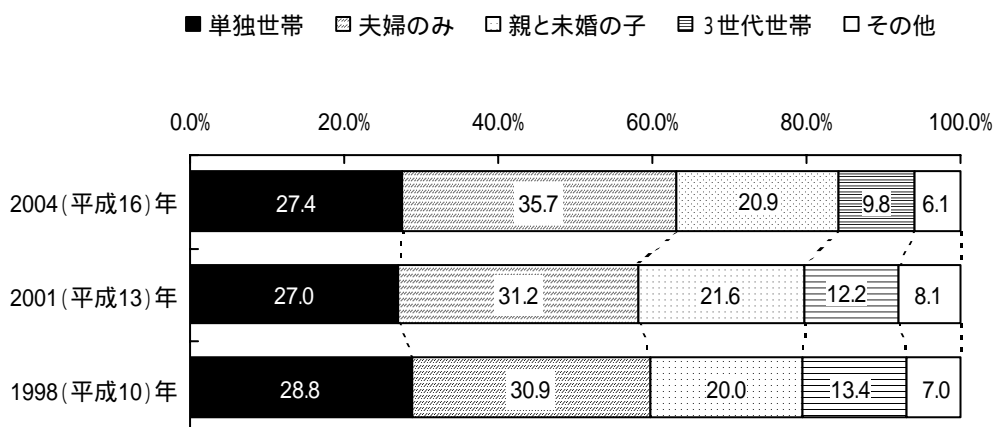
資料 : 東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」  
総務省統計局「人口推計」「国勢調査報告」

## 2 65歳以上の者のいる世帯の状況

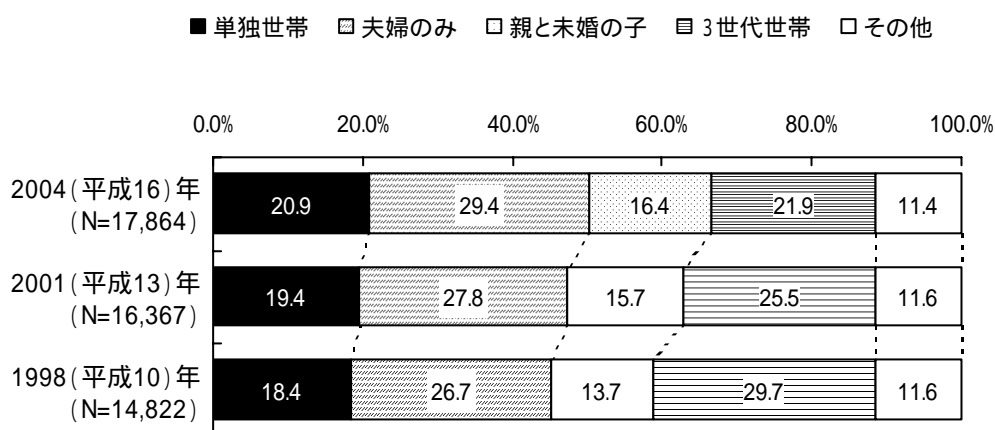
65歳以上の者のいる世帯の状況をみると、都、全国とも夫婦のみの世帯は年々増加し、3世代世帯は減少する傾向がみられる。単独世帯、親と未婚の子の世帯は、全国ではやや増加しているが都ではあまり変化はみられない。

図表 - 6 - 2 65歳以上の者のいる世帯の状況(都・全国)

<都>



<全国>



注1:「単独世帯」とは、世帯員が一人だけの世帯をいう。

注2:「夫婦のみ」とは、世帯主とその配偶者のみで構成する世帯をいう。

注3:「親と未婚の子」とは、夫婦もしくは父親か母親のいずれかと未婚の子のみで構成する世帯をいう。

注4:「3世代世帯」とは、世帯主を中心とした直系3世代以上の世帯をいう。

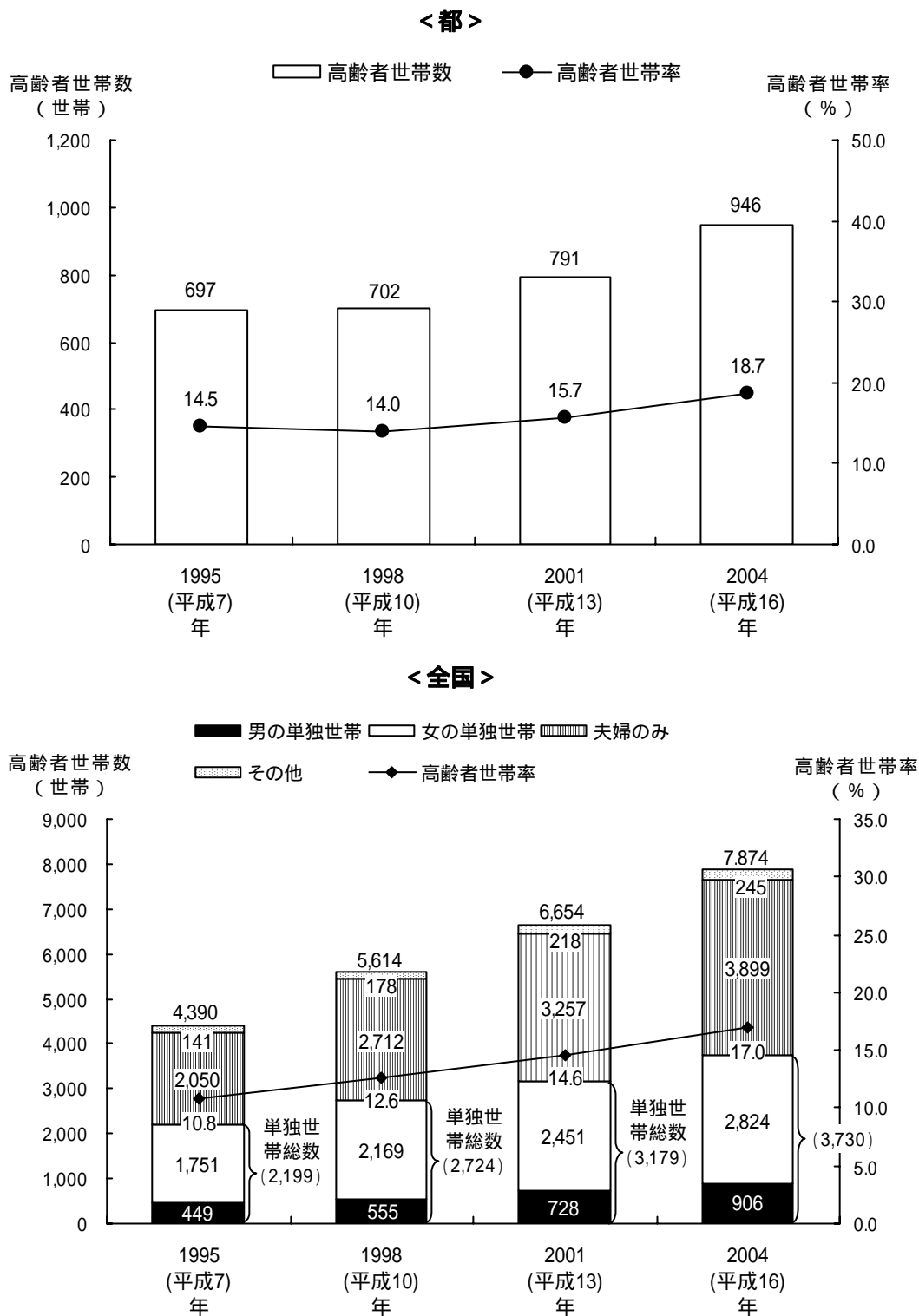
注5:「その他」とは、上記以外の世帯をいう。

資料:厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査の概況」

### 3 高齢者世帯の推移

高齢者世帯の推移をみると、都・全国ともに高齢者世帯数、高齢者世帯率のいずれにおいても年々増加する傾向がみられる。また、都は全国に比べ高齢者世帯率が高くなっている。

図表 - 6 - 3 高齢者世帯の推移（都・全国）



注1：高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚のものが加わった世帯

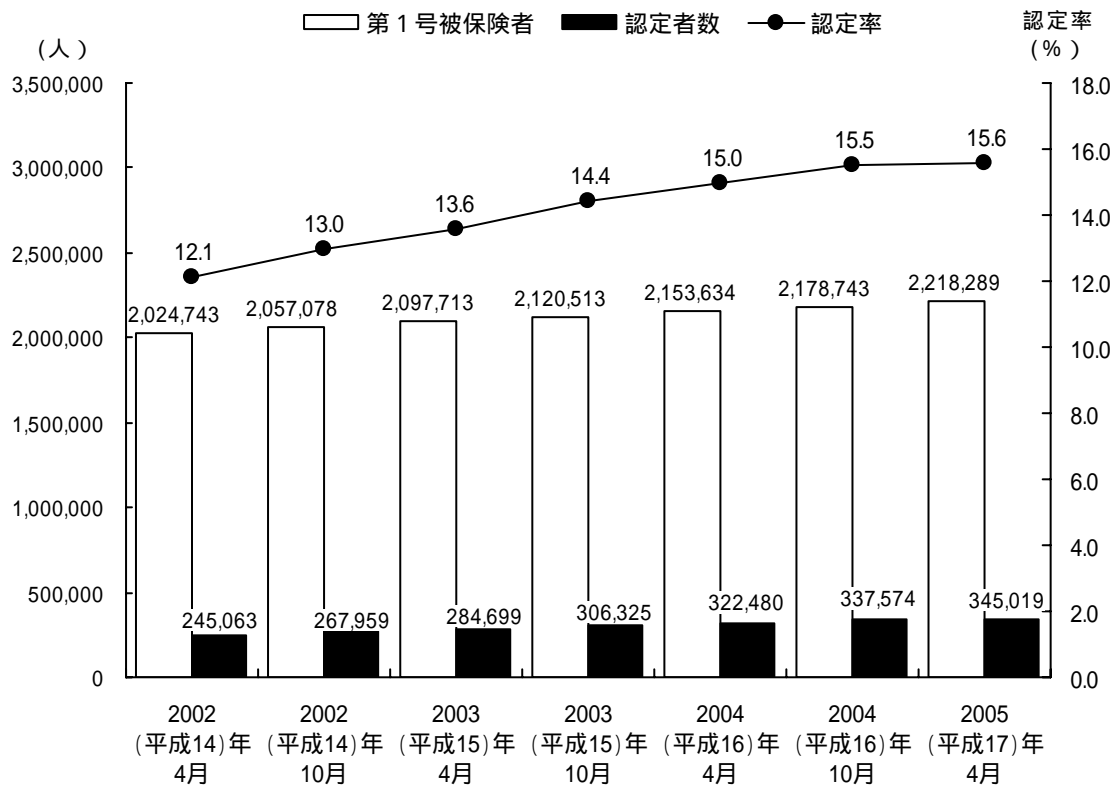
注2：高齢者世帯率とは、全世帯に対する高齢者世帯の割合

資料：厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査の概況」

#### 4 要介護認定高齢者と認定率の状況

要介護認定高齢者及び認定率は年々増加する傾向にあり、平成17年4月現在の要介護認定高齢者は約34万5千人、認定率は15.6%となっている。

図表 - 6 - 4 要介護認定高齢者と認定率の状況（都）



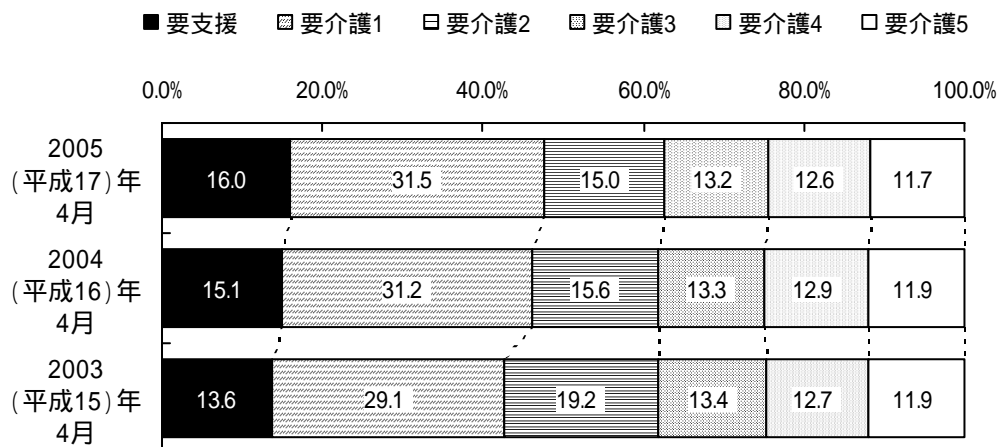
注：要介護認定高齢者は65歳以上、認定率は要介護認定高齢者の第1号被保険者に対する割合

資料：東京都福祉保健局「福祉・衛生行政統計月報」

## 5 要介護度分布

要介護（要支援）の認定者数の推移をみると、要支援と要介護1は増加傾向にあり、要介護2では減少傾向、要介護3以上では横ばいの状況が続いている。平成17年4月現在の要介護度分布は、依然として要介護1が31.5%と最も多く、次いで要支援が16.0%、要介護2が15.0%となっている。

図表 - 6 - 5 要介護度分布の推移（都）



注：第1号被保険者（65歳以上）の要介護認定者の分布

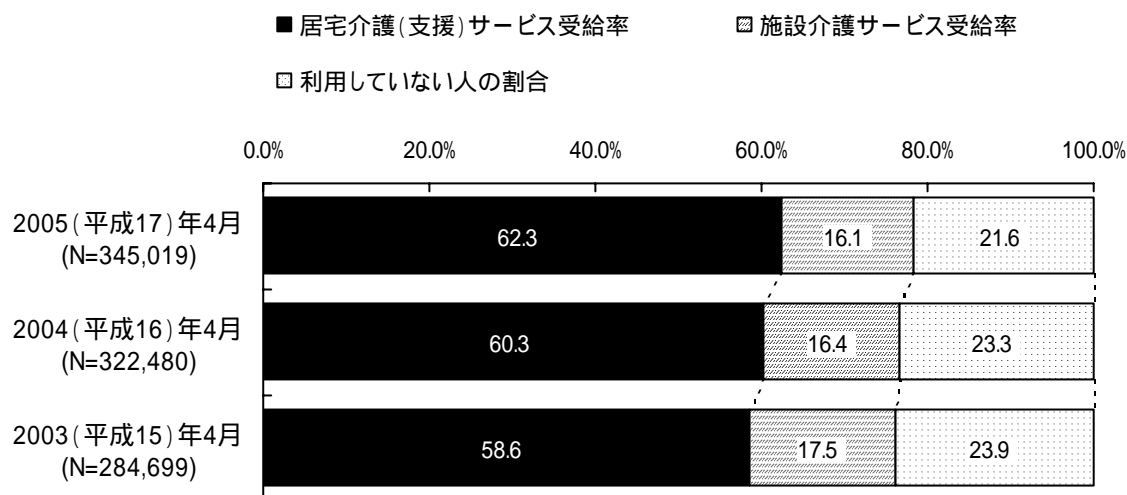
資料：東京都福祉保健局「福祉・衛生行政統計月報」

| 要介護区分 | 状況                        |
|-------|---------------------------|
| 要支援   | 要介護状態とは認められないが社会的支援を要する状態 |
| 要介護1  | 身の回りの事は出来るが一部支援が必要な状態     |
| 要介護2  | 身の回りの事は出来るが一部手助けが必要な状態    |
| 要介護3  | 身の回りの事に一部介助が必要な状態         |
| 要介護4  | 痴呆など全介助が必要な状態             |
| 要介護5  | 寝たきりの状態                   |

## 6 介護サービス受給率

介護サービス受給率の推移をみると、居宅介護サービス受給率は高くなる傾向にある。平成17年4月現在の要介護認定高齢者の居宅介護サービス受給率は62.3%、施設介護サービス受給率は16.1%となっており、これらを合わせたサービス受給率は78.4%である。

図表 - 6 - 6 介護サービス受給率の推移（都）



注：受給率は、サービス受給者の第1号被保険者数に対する割合

資料：東京都福祉保健局「福祉・衛生行政統計月報」